

FunBiz

Vol. 6

第6期 第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）



代表取締役会長兼社長
里見 治

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

セガサミーホールディングス株式会社の第6期第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の業績をご報告するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、連結売上高1,543億95百万円、営業損失3億18百万円、経常損失7億29百万円、四半期純損失63億23百万円となりました。

当期は各事業セグメントにおいて主カイトルの販売が下期中心となることから、前年同期比で減収となったものの、遊技機事業における価格戦略の見直しやパチンコ盤面販売比率上昇による利益率の向上、アミューズメント機器事業およびコンシューマ事業における研究開発費の削減、アミューズメント施設事業における設備投資・減価償却費ならびに人件費等の削減が寄与し、前年同期との比較では各利益段階が改善しました。なお、剰余金のお支払いについては、株主の皆様へ安定的な配当金のお支払いを実現するために、1株当たり15円とさせていただきます。

遊技機事業においては、パチンコ遊技機・パチスロ遊技機ともに主カイトルの販売により、前年同期を上回る販売台数を記録しました。価格戦略の見直しにより、一部製品の価格が上昇し、またパチンコ盤面販売比率が上昇したことから合わせて、前年同期比で利益率が大幅に改善しました。下期においては引き続き収益性を注視しつつ、斬新な遊技性を備えた複数の主カイトルの投入を計画しています。

アミューズメント機器事業は、主カイトルの販売が寄与した前年同期との比較では減収となり、営業損失を計上しました。しかしながら、9月にレベニューシェアモデルにて販売した「ボーダーブレイク」の稼動が好調に推移しており、また下期において、同モデルにて今期主カイトル「シャイニング・フォース・クロス」の販売を計画し、これらの稼動による収益寄与を期待しています。

アミューズメント施設事業は、既存店売上高が前年同期実績を下回るとともに、店舗数の減少により減収となりましたが、これまで取り組んできた営業費用の削減等により収益が改善しました。今後、計画している収益性・将来性の低い店舗の閉鎖・売却を進めると同時に、オペレーションの強化により収益力のさらなる向上に注力していきます。

コンシューマ事業においては、主カイトルの販売があった前年同期との比較では減収、営業損失の計上となりましたが、前期より進めている研究開発費の削減に引き続き取り組み、収益の改善を図りました。下期については、欧米市場向けのタイトルとして「Mario and Sonic at the Olympic Winter Games™」、グローバルに向けたタイトルとして「BAYONETTA™」など、主カイトルの販売を計画しています。

今後も当社グループを取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続くと思われませんが、さらなる収益構造の強化に向けた不断の取り組みを進めつつ、将来を見据えた種時きも確実に行っていき、中長期的な企業価値の向上を実現していく所存です。

株主の皆様におかれましては旧倍のご愛顧・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

里見 治

代表取締役会長兼社長



「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」
© 2005 BONES / Project EUREKA・MBS
© Sammy
© 2009 NBGI

サミーの集大成「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」登場

スペック、演出など一切の妥協を許さず、極限までこだわったサミーの集大成とも言えるパチスロ遊技機「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」が登場しました。メインコンセプトは「第3のボーナス」。4号機時代の期待感を再現し、5号機の遊技感覚に新たな波を起こす新世代スペック機です。サミーの歴代機種で人気を博した選りすぐりの機能を搭載しながら、押し順ナビを採用するなど初心者でも安心してプレイいただけるゲーム性となっています。また、「交響詩篇エウレカセブン」のTVアニメシリーズと劇場版を繋ぐエピソード＆プロローグ映像が本機のみ収録されており、「エウレカ」ファンにも楽しんでいただけます。

新基板を搭載した次世代ゲーム機「ボーダーブレイク」稼動

ハイスピードロボットチームバトルを実現した「ボーダーブレイク」が今秋より稼動しました。業務用新基板「RINGEDGE」を採用した「ボーダーブレイク」は、「ALL Net」を活用した全国20人（10vs10）による臨場感のある対戦を実現。「ゲームポイント（GP）」システムの採用により誰でも一定のプレイ時間を保障するほか、専用ICカードを使用することで機体やキャラクターのカスタマイズも可能となっています。また、タッチパネルによるプレイヤー同士のコミュニケーションなど、“仲間との一体感”を感じられる操作性、ゲーム性を実現しています。



「ボーダーブレイク」
© SEGA



「ぷよぷよ7」
© SEGA

みんなだいすき「ぷよぷよ7」を3プラットフォーム向けに発売

国民的アクションパズルゲームとして高い人気を誇る「ぷよぷよ」シリーズ最新作「ぷよぷよ7」をニンテンドーDS[®]、Wii[®]、PSP[®]。「プレイステーション・ポータブル」の3機種向けに発売しました。本作では新ルール「だいへんしん」が加わり、今までにない世界観とルールで「ぷよ勝負」を繰り広げます。また初心者でも理解できるルール説明や、実践練習を行う「がっこう」モードなど多彩な新機能を追加しています。

セガサミーグループ各社出資により爆丸LLP設立

セガサミーグループの(株)セガトイズ、(株)トムス・エンタテインメント、(株)セガ、サミー(株)、(株)サミーネットワークスは共同出資により、「爆丸」の国内における事業主体となる「爆丸有限責任事業組合(爆丸LLP)」を設立しました。「爆丸」とは、球状からキャラクターに瞬間変形するアクションフィギア「爆丸」とさまざまな効力を持つ「トレーディングカード」とのコンビネーションでバトルが楽しめる新感覚のアクション・カードゲームです。「爆丸」は現在までにアジア、北米、欧州、中東地域などを含めた世界約80カ国で展開されており、2009年2月には米国玩具業界において「トイ・オブ・ザ・イヤー」で「大賞」を受賞しました。爆丸LLPが国内の「爆丸」事業を総合的にプロデュースし、「爆丸」のIP価値の最大化を目指します。



「爆丸」
© SEGATOYS / SPIN MASTER / BAKUGAN2 PROJECT



「ソニック ナイト・オブ・ザ・ウェアホッグ」
© SEGA / © SSVE

CGアニメーション制作を手がける子会社設立

当社は成長戦略の一環として、2009年6月1日、CGアニメーション映像制作事業および著作権事業を手がける「セガサミービジュアル・エンタテインメント(株)」を設立しました。CGアニメーションは、当社グループが展開する事業との親和性が高く、既存事業で培った経営資源をCGアニメーションに有効活用することや、CGアニメーションにより新規開拓されたIPを既存事業に応用すること等によってグループシナジーの創出を実現します。セガサミービジュアル・エンタテインメントは「最高の物語を、世界中の子供たちへ」を経営のビジョンとし、5年以内にアジアパシフィックにおけるNo.1のファミリー向けアニメーションスタジオになることを目指します。

2009年版CSRレポートを発行

当社グループは、企業の社会的責任(CSR=Corporate Social Responsibility)の遂行を経営の重要課題と考えており、積極的なCSR活動に取り組んでいます。お客様、お取引先、株主・投資家の皆様、従業員、社会の各ステークホルダーに対する2008年度の主な活動内容をまとめ、「2009年版CSRレポート」を発行いたしました。本レポートは紙資源消費量節減による地球環境保護の観点から、冊子ではなく当社ホームページへのデータ掲載としました。下記URLよりご覧いただくことが可能です。

CSRレポートのURL

http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr_report.html



遊技機業界の活性化に向けたサミーと京楽産業、株式会社の協業

サミーは、京楽産業.と共同で遊技機業界の活性化に向けたプロジェクトを発表しました。構想から3年の時を経て公となったこのプロジェクトは、今年40周年を迎える人気漫画「あしたのジョー」を題材とし、サミーから「パチスロあしたのジョー」、京楽産業. から「ぱちんこ あしたのジョー」の発売を通じ、コンテンツの世界観や演出面に互換性を持たせるなど、パチンコ遊技機とパチスロ遊技機のユーザー間による回遊環境を創造し、移動の向上を図ります。斬新なスペックのパチスロ遊技機開発に強みを持つサミーと、ファンに愛される遊技機の開発に積極的な京楽産業.が競合メーカーという垣根を越え、遊技機業界の発展に貢献していきます。



「合同プロジェクト発表会」



大人気漫画「蒼天の拳」がサミーよりパチンコ遊技機として登場

「週刊コミックバンチ」で好評連載中の漫画「蒼天の拳」が、今冬、サミーより「ぱちんこCR蒼天の拳」として登場します。本機最大の特徴は、進化したバトルボーナスシステム「BATTLE BONUS EVOLUTION」の搭載です。右打ちと15ラウンド大当りのループによりかつてないバトルの渦へ誘います。さらに2部構成の新たなバトル演出が、バトルボーナス中のプレイヤーを最後まで熱くします。

「ぱちんこCR蒼天の拳」
© 原哲夫・武論尊2001、 著作権許諾証 SAG-309
© Sammy



「歴史大戦ゲッテンカ」
© SEGA

戦国武将を題材としたキッズ向けゲーム機の登場

セガはキッズゲーム市場の活性化と拡大を図るべく、2010年3月期に新たにキッズゲームを9機種投入します。そのうちの一つである歴史をテーマにした「歴史大戦ゲッテンカ」は個性豊かな戦国ヒーローをキャラクターとして採用し、スピード感のあるゲームを、日本の歴史に興味を持ちながら楽しむことができます。一人でも楽しめるのはもちろん、協力プレイを通じて親子のコミュニケーションを図ることができます。

遊技機事業

遊技機業界におきましては、多様なゲーム性を持ったパチンコ遊技機の入替が引き続き堅調に推移いたしました。パチスロ遊技機におきましては、一部、斬新なゲーム性を搭載した遊技機の供給が見られたものの、市場の本格回復には至らず、今後も市場活性化に向けたさらなる取り組みが期待されています。

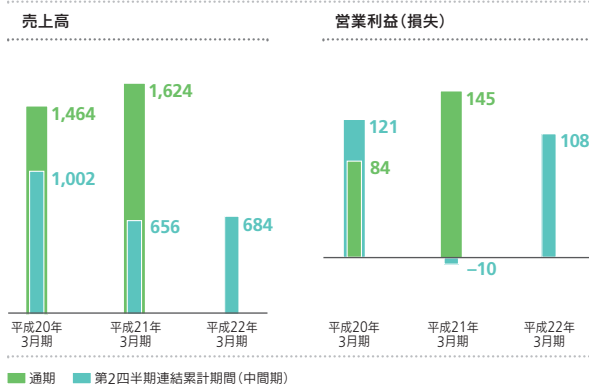
パチンコ遊技機事業におきましては、サミーブランド「ぱちんこCR宮廷女官チャングムの誓い」や「CRガメラ THE BATTLE PACHINKO」などの販売を行い、パチンコ遊技機全体で、前年同期実績を上回る167千台の販売となりました。また、盤面販売比率の上昇等により、利益率が改善いたしました。

パチスロ遊技機事業におきましては、斬新なゲーム性を搭載した、今期主カタイトルの一つであるサミーブランド「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」や「パチスロうる星やつら2」の販売が好調に推移した結果、パチスロ遊技機全体で、前年同期実績を上回る57千台の販売となりました。また、パチンコ、パチスロ遊技機ともに、販売価格が上昇したことにより利益率が改善いたしました。

以上の結果、売上高は684億53百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は108億97百万円(前年同期は営業損失10億65百万円)となりました。

遊技機事業

(単位: 億円)



アミューズメント機器事業

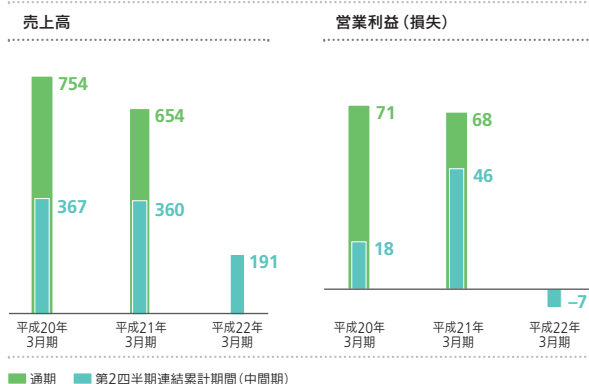
アミューズメント業界におきましては、個人消費の低迷等によって厳しい環境が続いており、今後の市場活性化に向けては、ファミリー層やライトユーザー層など多様化する顧客ニーズに応じた、市場を牽引する斬新なゲーム機の開発、供給等が期待されています。

アミューズメント機器事業におきましては、施設運営者の投資効率向上と当社の長期安定収益確保を目的としたレベニューシェアモデル(All-NET P-ras)にて販売を行った今期主カタイトルであるビデオゲーム「ボーダーブレイク」の稼動が好調に推移いたしました。なお、上期は大型タイトルの発売を計画しておらず、売上、利益ともに前年同期実績を下回りました。

以上の結果、売上高は191億92百万円(前年同期比46.8%減)、営業損失は7億37百万円(前年同期は営業利益46億41百万円)となりました。

アミューズメント機器事業

(単位: 億円)



アミューズメント施設事業

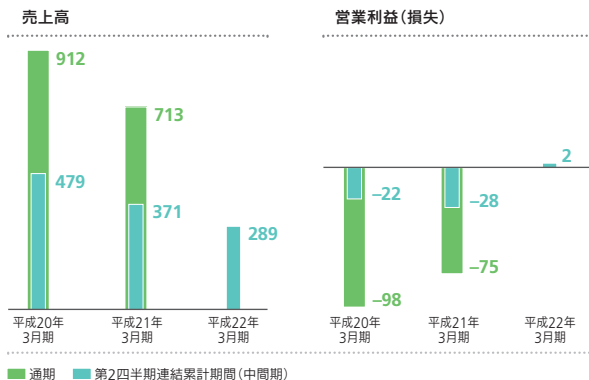
アミューズメント施設事業におきましては、個人消費の低迷等により、セガ国内既存店舗の売上高は、前年同期比92.3%で推移し、前年同期実績を下回る水準となりました。

厳しい経営環境を受け、国内においては、前期末から引き続き将来性・収益性の低い店舗の閉鎖を進めており、当第2四半期累計期間において、46店舗の閉店を行う一方、新規出店を1店舗行った結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は277店舗となりました。

以上の結果、アミューズメント施設事業における売上高は289億48百万円(前年同期比22.1%減)、営業利益は2億23百万円(前年同期は営業損失28億22百万円)となりました。

アミューズメント施設事業

(単位: 億円)



コンシューマ事業

家庭用ゲームソフト業界におきましては、現世代機の普及に伴うゲームソフトの需要拡大が一段落したものの、今後は、価格見直しが実施された現世代機のさらなる普及拡大、及びそれに伴う市場の活性化が期待されています。

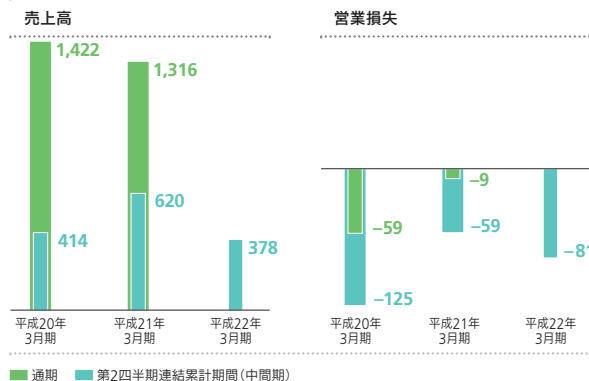
コンシューマ事業におきましては、家庭用ゲームソフト事業において、新作タイトルの販売は概ね堅調に推移したものの、海外でのリピートタイトルの販売が低調となりました。その結果、ゲームソフト販売本数は、米国230万本、欧州200万本、日本・その他109万本、合計540万本となりました。なお、上期に見込んでいた一部のコンテンツ制作費の費用計上が下期以降に繰り延べられています。

玩具販売事業におきましては、海外販売は好調に推移したものの、国内販売が低調となりました。また、携帯電話・PC向けコンテンツ事業は、PC向けのゲーム配信を中心に堅調に推移した一方、アニメーション映像事業は、主にアニメーション制作収入が前年同期実績を下回りました。

以上の結果、売上高は378億1百万円(前年同期比39.0%減)、営業損失は81億93百万円(前年同期は営業損失59億16百万円)となりました。

コンシューマ事業

(単位: 億円)



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,647	106,436
受取手形及び売掛金	59,260	80,468
有価証券	44,892	26,798
商品及び製品	12,847	7,656
仕掛品	5,464	2,914
原材料及び貯蔵品	28,121	30,971
その他	26,160	32,191
貸倒引当金	△ 592	△ 698
流動資産合計	272,802	286,740
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,565	22,590
その他（純額）	39,896	42,525
有形固定資産合計	62,462	65,116
無形固定資産		
のれん	6,430	6,949
その他	6,095	6,292
無形固定資産合計	12,526	13,242
投資その他の資産		
投資有価証券	28,995	27,732
その他	32,796	35,466
貸倒引当金	△ 4,492	△ 4,360
投資その他の資産合計	57,298	58,838
固定資産合計	132,287	137,197
資産合計	405,090	423,938

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,309	51,298
短期借入金	5,683	5,467
未払法人税等	4,586	3,131
引当金	2,632	2,905
その他	42,385	34,390
流動負債合計	93,597	97,194
固定負債		
社債	47,260	52,834
長期借入金	6,910	6,740
退職給付引当金	11,478	10,873
役員退職慰労引当金	1,044	2,152
その他	12,061	11,610
固定負債合計	78,754	84,211
負債合計	172,352	181,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	171,081	171,082
利益剰余金	109,315	119,417
自己株式	△ 73,689	△ 73,685
株主資本合計	236,659	246,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 1,275	△ 1,619
繰延ヘッジ損益	150	—
土地再評価差額金	△ 5,966	△ 5,966
為替換算調整勘定	△ 17,502	△ 16,865
評価・換算差額等合計	△ 24,593	△ 24,451
新株予約権	1,188	1,222
少数株主持分	19,483	18,994
純資産合計	232,738	242,532
負債純資産合計	405,090	423,938

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

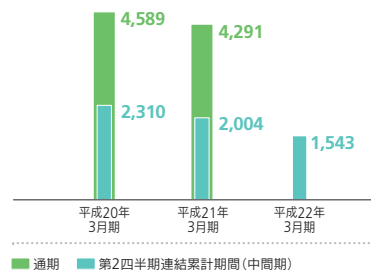
(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	154,395	200,446
売上原価	106,931	151,354
売上総利益	47,463	49,091
販売費及び一般管理費	47,782	56,670
営業損失	△ 318	△ 7,578
営業外収益	897	2,109
営業外費用	1,307	3,015
経常損失	△ 729	△ 8,484
特別利益	1,913	1,659
特別損失	2,531	2,463
税金等調整前四半期純損失	△ 1,346	△ 9,289
法人税、住民税及び事業税	3,973	451
法人税等還付税額	—	△ 722
少数株主利益	1,002	535
四半期純損失	△ 6,323	△ 9,554

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

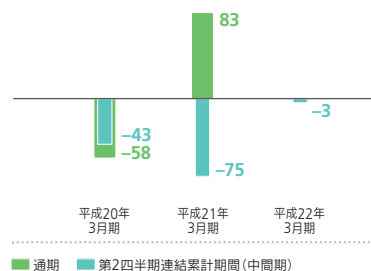
(単位：億円)



当期においては、遊技機事業、アミューズメント機器事業及び、コンシューマ事業の主力タイトル販売が下期中心となるため、売上高は前年同期比23.0%減の1,543億95百万円となりました。

営業利益(損失)

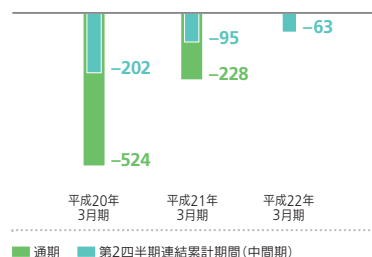
(単位：億円)



遊技機事業における価格戦略の見直しやパチンコ盤面販売比率の上昇による利益率の改善、アミューズメント施設事業における人件費等、営業費用の削減、アミューズメント機器事業ならびにコンシューマ事業における研究開発費・コンテンツ制作費の削減などにより、営業損失は前年同期の75億78百万円に対し、3億18百万円となり損失額が縮小しました。

四半期(当期)純損失

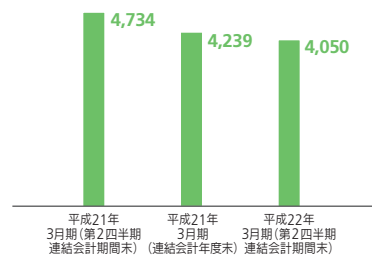
(単位:億円)



原状回復費戻入益など特別利益19億13百万円を計上した一方、関係会社株式売却損など特別損失25億31百万円を計上し、四半期純損失は63億23百万円となりました。

総資産合計

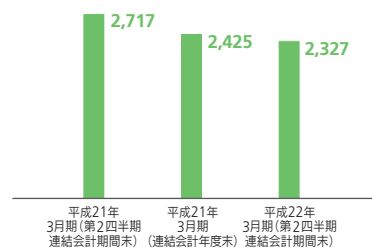
(単位:億円)



受取手形及び売掛金が212億7百万円、支払手形及び買掛金が129億88百万円それぞれ減少した一方で、譲渡性預金の購入等により有価証券が180億93百万円増加し、現金及び預金が97億89百万円減少いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ188億47百万円減少し、4,050億90百万円となりました。

純資産合計

(単位:億円)



四半期純損失の計上や配当金の支払等により、当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ97億94百万円減少し、2,327億38百万円となりました。

会社データ

平成21年9月30日現在

会社名

セガサミーホールディングス株式会社

英文表記

SEGA SAMMY HOLDINGS INC.

所在地

〒105-0021

東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル

URL

<http://www.segasammy.co.jp>

事業内容

総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、
グループの経営管理およびそれに附帯する業務

設立

平成16年10月1日

資本金

299億円

発行可能株式総数

800,000,000株

発行済株式総数

283,229,476株

従業員

103名

役員および監査役

代表取締役会長兼社長	里見 治
代表取締役副社長	中山 圭史
取締役	臼井 興胤
取締役兼CCO	小口 久雄
取締役	岩永 裕二
取締役	夏野 剛
常勤監査役	嘉指 富雄
監査役	平川 壽男
監査役	宮崎 尚
監査役	榎本 峰夫

株主情報

平成21年9月30日現在

株主数

90,496名

所有者別分布状況



15.87%	金融機関
0.68%	金融商品取引業者
33.56%	外国法人等
6.58%	その他法人
32.25%	個人・その他
11.06%	自己株式

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
里見 治	43,569,338	15.38
セガサミーホールディングス株式会社	31,311,138	11.05
メロンバンクエヌエートリーテー クライアントオムニバス	18,274,461	6.45
有限会社エフエスシー	14,172,840	5.00
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	13,248,600	4.67
ザバンクオブニューヨークメロンアズデジタル バンクフォーデポジタリレシートホルダーズ	12,583,234	4.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	8,561,600	3.02
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	8,030,604	2.83
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505225	5,020,021	1.77
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツ クライアントメロンオムニバスユーエスペンション	2,773,056	0.97

証券コード

6460

1単元の株式数

100株

事業年度末

毎年3月31日

定時株主総会

毎年6月中

剰余金の配当の基準日

期末配当: 3月31日

中間配当: 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法

電子公告

公告掲載URL

<http://www.segasammy.co.jp>

なお、止むを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなうものとします。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話: 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行(株)のホームページでは、株式の名義書換、単元未満株式の買取または買増、その他株式に関する諸手続きについてご案内しております。なお、「株券等の保管振替制度」をご利用の方はお取引のある証券会社へご照会ください。

(三菱UFJ信託銀行のホームページ)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

